

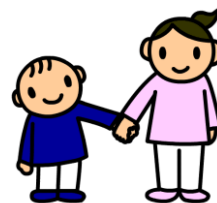


○教育支援・地域連携係です〈よろしくお願ひいたします〉

平成27年度の活動方針と、窓口の紹介をいたします。

①校内教育支援の充実に努めます。

- ・校内人材バンクの作成と活用（今年度よりスタートします）
- ・教育機関、医療機関、福祉機関との連携やその調整
- ・ボランティア活動の調整及びサポート
- ・盲・聾学校を中心とした専門指導の調整及びサポート等



②地域内の特別支援教育センターとしての機能を発揮します。

- ・電話や来校による相談や、岡山市教育委員会の依頼で学校を訪問しての支援等
- ・各地域の障害者自立支援協議会との連携を調整・サポート等

③相談窓口はこのメンバーです。（副校長、教育支援係）

- ・校外／寄宿舍 ・全学部 ・小学部 ・中学部 ・高等部
【山根幸夫副校長】 【岡 嘉宏】 【Co.小寺潤子】 【村西良子】 【Co.岡田廣重】 【Co.大谷雅子】



・コーディネーター(Co.)は各学部の教頭・教務や他分掌の担当者と連携し、解決に向けてコーディネートします。また、外部の諸機関との連携においても、コーディネーターは各学部の教頭・教務や他分掌の担当者と連携して支援にあたります。

○今年度もボランティアさんにお世話になります！

第54回体育大会(5/23(土)実施)には、10名の方がボランティアとして参加してくださいました。感想やお礼の言葉の一部を紹介します。また第41回寄宿舍祭(6/27(土)実施)にも、25名超の方が参加予定です。行事等で本当にたくさんの方々にお世話になっています。ありがとうございます。



初めて支援学校でボランティアをさせていただき、とても貴重な経験になりました。今までにない新鮮な場で、すごく興味が深まりました。職員の方の笑顔がキラキラしていて、子ども達と楽しそうに関わっていて、とても魅力的でした。また、ぜひ参加したいです。

昨年に引き続き今年も、体育大会ボランティアとして参加させていただきました。いつもと違う雰囲気の中でも一生懸命頑張る子ども達の様子に、毎年力を分けてもらっています。今年も「えいっ」と気合いを入れる真剣な顔や「やったー!」と先生と手を合わせる姿がとても素敵でした。ありがとうございます。



○図書紹介1



《こんな本があります。ご存じでしたか!?》

『子どもの 発達にあわせて 教える』

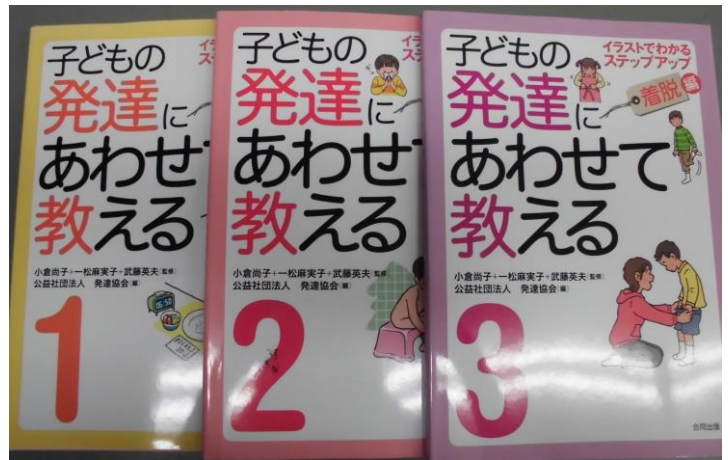
イラストでわかるステップアップ

【監修】小倉尚子＋松麻美子＋武藤英雄

【編集】公益社団法人 発達協会

合同出版 2,300円＋税

1 食事編 2 着脱編 3 排泄・清潔編



の3巻からなるシリーズものです。

本の紹介欄に次のような内容が記されています。

「発達につまずきのある子どもを教えるときには、一人ひとりの子どもにあわせたオーダーメイドの配慮が必要です。その配慮が適切であれば、大人と子どもの間に信頼感が生まれ、子どもは自立のための力を育んでいきます。

日々子どもたちと保護者に接している療育スタッフが、社会的自立に必要な生活技術を教える方法や工夫を具体的な場面に即して紹介しています。」

実際に、イラストを交えたわかりやすい解説の本であると感じました。まだ、お読みでなく興味のある方がいらっしゃいましたら、教育支援係に一声お掛けください。

○図書紹介2

《特別支援学校の教職員は、こんな本を参考に使っています。》

「わかる！できる！」が実感できる授業づくり わかる喜びが子どもの意欲を引き出す

特別支援教育の実践情報 No.148 2012/6/7号

特別支援教育の実践研究編 代表；宮崎英憲

明治図書 960円税込み

巻頭言に

「特別支援学校の対象である発達障害等の障害のある児童生徒は、学習における成功体験の少なさから学習意欲が低下してしまうことも少なくありません。今回の特集では、『子どもの意欲』ということ 키워ドに『わかる・できる』ことを児童生徒一人一人が感じられる授業の具体的な工夫等について紹介したいと思います。(抜粋)」と記されていました。

私たち教師の真髄、子どもたちにわかる授業をする、を合い言葉に本校でも日々頑張っています。こちら興味ある方は、教育支援係までお知らせください。

